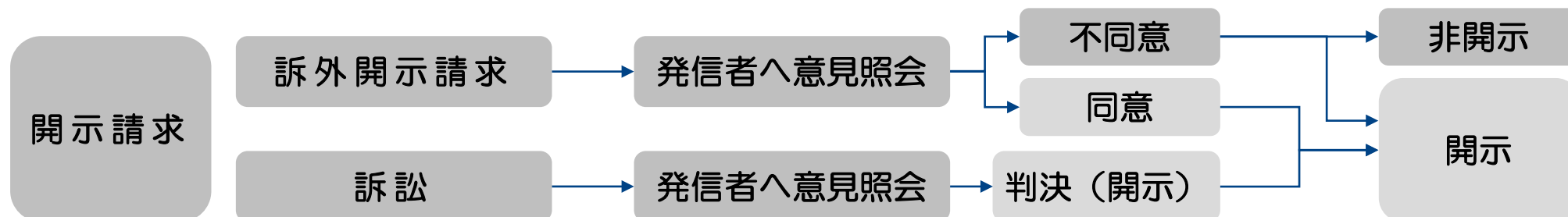


当社における発信者情報開示請求 の現状について

NTTコミュニケーションズ株式会社

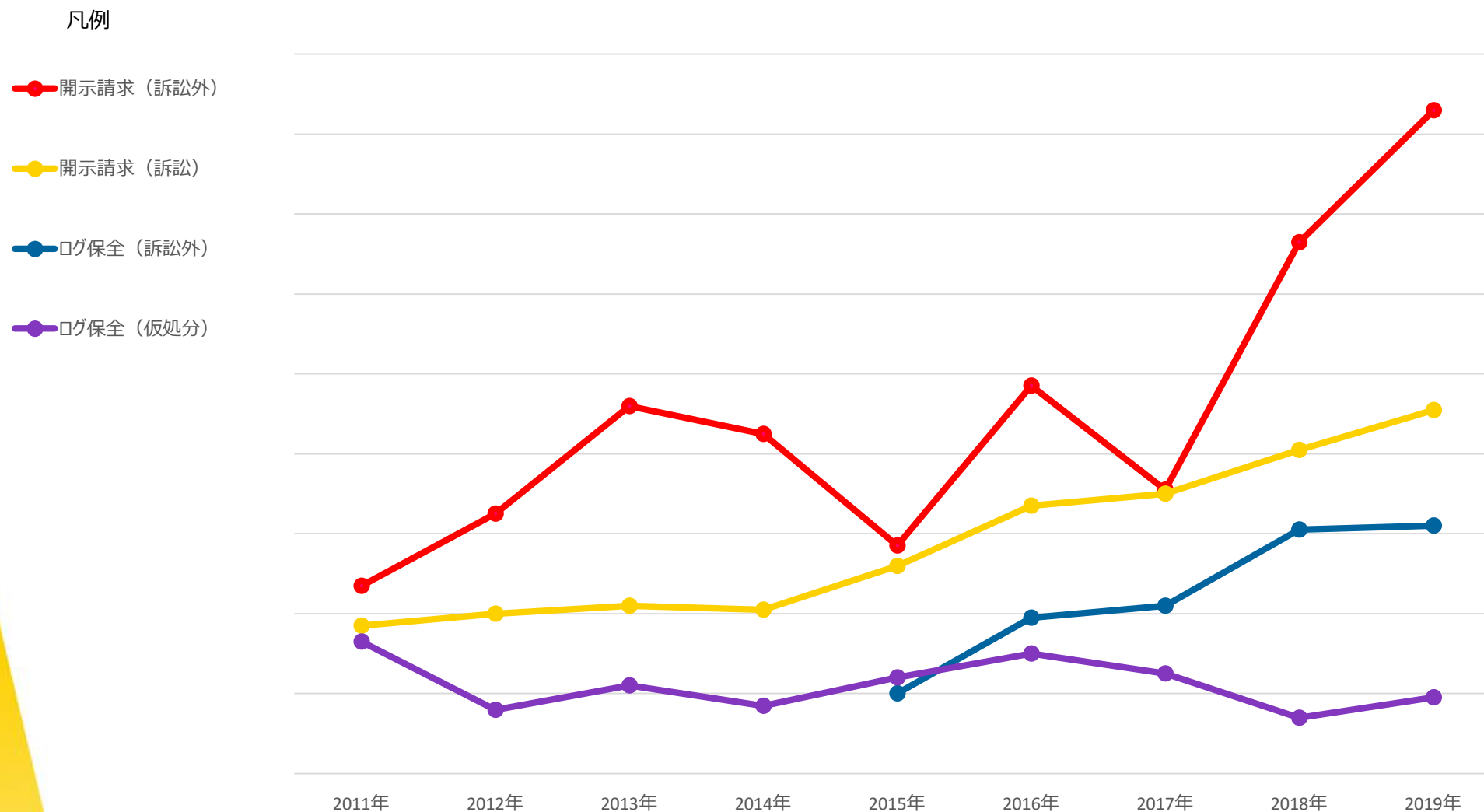
2020年4月30日

- 発信者情報開示請求件数は、増加の一途（直近3年で約2倍） 【別紙1参照】
- 被侵害権利の内容は、『名誉毀損』及び『プライバシー侵害』で約8割 【別紙2参照】
- 被侵害権利毎の開示請求件数推移を見ると、 【別紙3参照】
 - 名誉毀損の増加傾向が顕著
 - プライバシー侵害または著作権侵害は横ばい
- 発信者情報開示請求の運用は、法令等に則り以下のフローにより対応



(別紙1)開示請求等件数の推移

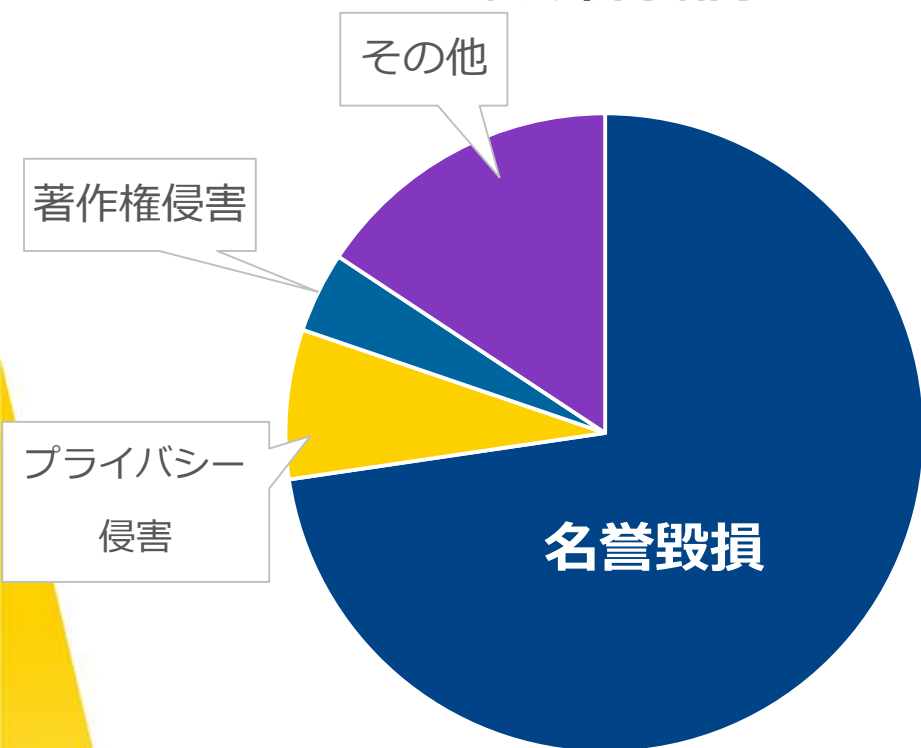
➤ 訴訟・訴訟外ともに、開示請求件数は増加傾向



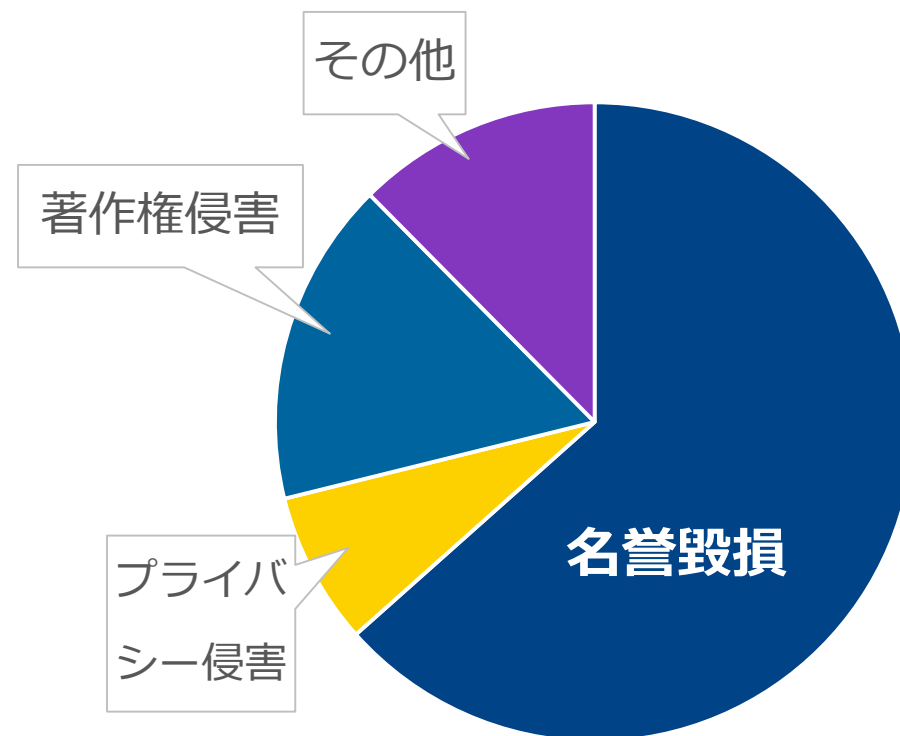
(別紙2)被侵害権利の内訳

- 被侵害権利の内訳を訴訟と訴訟外で分けると以下のとおり
- 訴訟において、被侵害権利の権利別にみると、「名誉毀損」及び「プライバシー侵害」で約8割

訴訟の開示請求



訴訟外の開示請求

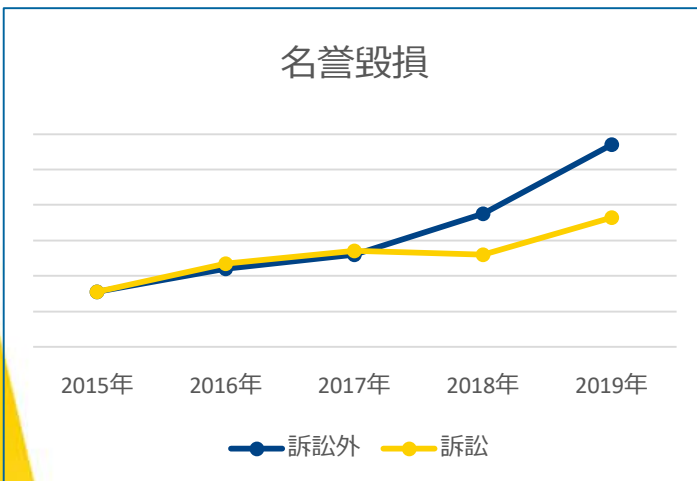


2018年度～2019年度の2年間累計

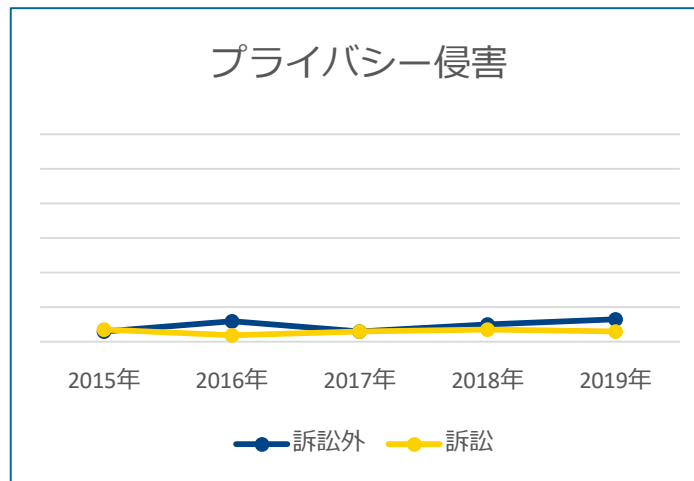
(別紙3)被侵害権利毎の開示請求件数推移

- 名誉毀損を理由とした開示請求件数は、訴訟・訴訟外ともに増加傾向
- プライバシー侵害、著作権侵害を理由とした開示請求件数は両方とも訴訟・訴訟外ともに横ばい

名誉毀損



プライバシー侵害



著作権侵害

